

平成 30 年度東三河自然再生推進業務概要（東三河総局委託事業）

1. 業務の目的

魅力ある東三河地域の豊かな自然の保全を目指して地域で活動する人たち 15 名を「地域環境リーダー」として任命し、地域の環境課題を探って、環境の保全や改善の方策を検討した。また、豊かな自然の魅力を多くの人に体感してもらうためのエコツアーを企画し、エコツアー等を通じて地域環境リーダーと参加者の交流の中から、生物多様性の意味をより多くの人たちに理解してもらい、魅力ある地域環境のさらなる発信につなげることで地域の活性化等にも寄与することを目指した。

2. 事業の概要

地域環境リーダー活躍促進事業と地域環境リーダー交流事業の 2 事業

（1）地域環境リーダー活躍促進事業

ア. 地域環境リーダー15名の任命

イ. 地域環境リーダーの配置

東三河 3 つの生態系ネットワーク協議会のエリアに合わせた新城設楽（新城以北）・東三河（豊橋、豊川、蒲郡）・渥美半島（田原市）の各地域 5 名ずつを配置

ウ. 3 回のワークショップ実施

①第 1 回ワークショップ＝環境フィールド設定、課題の設定

②第 2 回ワークショップ＝現地確認

③第 3 回ワークショップ＝確認した課題に対する対策の検討と実践

エ. 成果発表

新城設楽、東三河、渥美半島の 3 つの地域ごとに各地域の生態系ネットワークフォーラムでワークショップのまとめと、対策や実践等の結果を発表

（2）地域環境リーダー交流事業

ア. エコツアーの設計と実施

地域環境リーダー交流事業として新城設楽地域の自然を体感できるエコツアーの設計と一般参加者 30 名を募集、地域環境リーダーがガイド実践

3. 実施結果

(1) 地域環境リーダー活躍促進事業

ア. 第 1 回ワークショップ (8 月 5 日、豊橋市豊城地区市民館で合同ワークショップ)

①推薦と公募で選定した 15 名を「地域環境リーダー」に任命

②課題を抱える環境フィールドの設定

- ・東三河地域＝東三河ふるさと公園
- ・新城設楽地域＝作手湿原群の長ノ山湿原と清岳向山湿原
- ・渥美半島地域＝いらご さららパークと隣接の西ノ浜松林及び伊良湖岬一帯

イ. 第 2 回ワークショップ (3 地域の設定フィールドで現地確認)

①新城設楽地域 (8 月 12 日)

- ・清岳向山湿原と長ノ山湿原で湿原への水源供給源である周囲の森林の未整備と周辺宅地化による流入水量減少を確認
- ・湿原に侵入したヨシ、ササ等の植物による乾燥化の進行を確認

②渥美半島地域 (8 月 19 日)

- ・現地確認でいらご さららパーク内のみどり池に侵入している外来種のみししっぴアカミミガメを確認及びかご罠を設置し、駆除を実践
- ・伊良湖岬一帯で渡りをするチョウのアサギマダラの吸蜜種であるサケバヒヨドリの確認及び保全について検討

③東三河地域 (8 月 26 日)

- ・東三河ふるさと公園で園内の植生を観察し、特に竹林の現状を確認
- ・里山の草原を再現した「山野草園」の現状を確認



第 1 回ワークショップで環境フィールド設定を話し合う



第2回ワークショップで現地確認する新城設楽地域・渥美半島地域・東三河地域(左から)

ウ. 第3回ワークショップ (9月16日、豊橋市豊城地区市民館で合同ワークショップ)

- ・東三河、新城設楽、渥美半島の3地域の地域環境リーダーが、現地確認をもとにまとめた対策を発表、意見交換

①新城設楽地域

- ・湿原への水源供給源の確保のため、森林所有者に間伐可能性の打診
- ・乾燥化抑制のため、ヨシ、ササの刈り取り後の草の除去を関係機関に依頼、除去実践を計画(平成31年3月に入って実施)

②渥美半島地域

- ・いらご さらにパーク内のみどり池で外来種のミシシippアカミミガメ105頭を捕獲、継続的な捕獲実践を決定



第3回ワークショップでは、3地域が取り組んだ内容について意見交換もした

- ・伊良湖岬一帯でサケバヒヨドリの保全作業実践
- ・10月にアサギマダラのマーキングも実施

③東三河地域

- ・東三河ふるさと公園での現地確認後、園内の竹林分布調査を実施
- ・外来種のモウソウチクの管理徹底と拡散防止及び園内「野草園」の植生管理の方法を検討することで東三河地域の草原の再生による充実した植物展示等を提案

(2) 地域環境リーダー交流事業

ア. 参加者募集

エコツアーは「奥三河自然環境フィールドエコツアー」の名称で実施、過去3年間の本事業参加者を中心にダイレクトメールで呼びかけたほか、チラシ配布や専用ブログ、愛知県HPで公募した。その結果、募集定員30名に対し、57名の応募があり、キャンセル待ちが出た。



ブナの森で葉っぱのお面を作って楽しむ(左) 紅葉の面の木園地を満喫する参加者(右)

イ. エコツアーのコース

エコツアーは、豊橋を出発し、日帰りのコースで茶の実絞りを行っている「山の搾油所」（設楽町）と茶臼山高原へ向かう途中の「面ノ木園地」の2か所に絞って実施した。面ノ木園地では、紅葉を楽しみながら、葉っぱのお面で遊んだ。参加者は、ガイドした地域環境リーダーと一緒に樹種ごとの葉の色づきや樹皮の違いを観察したり、木の実を採取して種類を確認するなど自然を体感した。

（3）成果発表会

成果発表会は、東三河地域の3つの生態系ネットワーク協議会主催のフォーラムで行った。東三河地域（11月17日、アイプラザ豊橋）、新城設楽地域（11月18日、新城市つくで交流館）、渥美半島地域（12月14日、田原市役所）で地域環境リーダーがパワーポイントを使ってワークショップでの検討結果とその後の実践報告を行った。



成果発表をする東三河地域、新城設楽地域、渥美半島地域（左から）